第44号

第44号 発行

豊橋市立賀茂小学校 **〒**441−1101 豊橋市賀茂町字森信24番地 (0532)88 - 0400





入り、 の卒業証書授与式で十一名の六年生が卒業 とを感じられるようになってきました。いよ 日一日と春へ向かって季節が進んでいるこ 式をもって終わろうとしています。 を迎え、 いよ本校の今年度の教育活動も三月十八日 そして三月二十四日、 在校生の修了

それを見逃さず、最大限に活かしていくこと としても、 す。「小才は、どんなにすばらしい縁やチャン 軍家の兵法指南役だった柳生宗矩の言葉で は縁に逢って縁を活かさず ができる。」と解釈されています。 い。大才は、どんなに小さなチャンスでも、 スに巡り合っても、それに気づかない。中才 合う他生の縁もこれを活かす」これは徳川将 たとえ、そうしたチャンスに気がついた 小才は縁に逢って縁に気づかず それを十分に活かすことができな 大才は袖触れ 中才

す。

と思います。 るのも、 奇跡的な貴重な出会いを、活かすも無駄にす に活動する確率は極めて低いことです。この で同じ時代に、この賀茂小学校で出会って共 日本の人口は約一億二千五百万人。その中 (縁) に対する考え方次第だ

さの厳しい冬となりました。しかし、 今年の冬は、 校庭の梅や菜の花が咲くようになり、 例年になく雪がよく降り、 三月に 寒

せる鍵となるような気がします。 っていることもあります。 え方を知るだけでも、自分の学びや糧にな とができます。自分とは違った価値観や考 かや何かに助けてもらってこそ生きるこ 人は一人では決して生きていけません。 の経験は自分の成長につながっています。 経験をしてきたことでしょう。そして、 んて一つもないのです。 人・もの・できごとと出会い、 縁)を大切にすることが、自分を成長さ 子どもたちは、 こ の 一 年間でさまざまな だから、 無駄な出会いな さまざまな 出会い 誰

よう。 自分を成長させていってほしいと思い まで以上に多くの出会いがあることでし 六年生は四月から中学校に入学です。 その新たな出会いを大切に、さらに ま

ですが、 らは、 くお願いいたします。 き皆様のご理解とご協力をどうぞよろし 活動を進めていきたいと思います。 る予定です。 児童六十七名で令和四年度がスタートす 本当にありがとうございました。 保護者の皆様、 新入生十三名が本校に入学し、 小規模校ならではの特色ある教育 六十七名という少ない児童数 地域の皆様、 今年一 引き続 四月か 全校

大切な出会い

賀茂小学校長 村松博道

(一部抜粋)

令和3年度

賀茂小学校の教育活動を振り返って

~自己評価・学校関係者評価から~

賀茂小学校は、児童・保護者に対してアンケートを行ったり、評議員のみなさんに意見をうかがったりして、令和3年度の教育活動を振り返りました。学校評議員会では、さまざまな視点・お立場から、ご指摘等をいただきました。これらの結果を生かして、来年度の取り組みに力を入れていきます。ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

中	₩A I			総合	** ** ** ** ** ** ** **	関係者	学校関係者の	今後の改善方策
目標	重点努力目標(評価項目)		己評価	合評価	達成状況と成果 	者評価	意見・要望	次年度への課題
学ぶ力の育成に努める「わかる、楽しい授業」を基盤に、自ら	自ら考え 判断する 力の育成	地域の人・もの・ことを教材 に取り入れ、問題解決学習を 重視し、自ら考え、判断する 場を設定した授業を心がける	В	В	地域の教育力の活用や 地域に出て地域から学ぶ 授業が定着している。一 方、コロナ禍で人と関わ る活動が厳しい状況があ		学校全体で地域の学を表すり もユラスにない。 を対している。 が交にはいるがではいい。	地域と関わりながら心豊かな子どもを育ている成果を専重し合き実践し、に努力でいる。授業にの対する工夫や指導の充実を引き続きという。というでは、ないくので、大やは、大やは、大やは、大やは、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに
	「話す・ 聞く」力 の育成	発達段階に応じた「伝え合う」 ためのスキルと学習規律を養 う場として、お話タイムの実践 に力を入れる	A		った。 「お話タイム」を設定し、自分の考えを発表する経験を積み重ねるとともに授業では、積極的に話し合う場をもった。	A		
心豊かな子を育てる教育活動を推進する	優しい 心・思い やりの心 の育成	相手のことを理解しようとしたり、優しく接したりする心を育むために、自分の行動や周りの行動の様子が文字化・可視化できる活動を継続していく	A	A	行事や「賀茂タイム」での縦割りやペア学年活動等の異学年活動を通して、友達や下級生に優しく親切に接する子どもの姿が多く見られた。 高学年児童が「挨拶隊」を結成し、校内での挨拶の意識を高めた。	A	子ども同士で 互いに認め合い 高め合う姿勢が 授業からみられ る。 挨拶は何度も 言ってみせること が大切である。	道徳の時間を中心 に相手の立場に立っ て考える心の育成 と、自己肯定感を高 め、自分も大切にで きる子の育成に努め ていく。挨拶は、場 面をとらえて指導し 継続的に認め励ま す。
	生活習慣 の基本、 挨拶の意 識を高め る	先手の挨拶を行うことにより、一日を気持ちよく過ごせるためのツールとして感じる習慣を身につけさせる。大人がまず見本を、教職員はもちろん、保護者・地域にも呼びかける	В					
たくましい子の育成に努める規則正しい生活習慣を養い、心身ともに	健康で丈 夫な体づ くりへの 意識の育 成	外遊び、早寝・早起き、ノー メディアデーを奨励して、自 分の健康に関心をもち、身体 を鍛える活動に積極的に参加 する子どもの育成を図る	A	A	学校保健委員会やノーメディアデーの取り組み 等において自分の身体や健康に関心をもち、生活習慣について考える子の育成に努めた。 縄跳び活動を中心に、授業での継続的な実践、運動委員会の活動により、体力向上に努めることができた。	A	生活に生でロのうほかでで見いでにをでいる。自さけであった上しがでいるのうは動でで活いののでは動でであったといな、動けにして、 く体をてはしい。	今後も具体的な目標設定によって体力、健康面での指導を図りたい。その際、個に応じた手だてを講じたい。健康面では今後も養護教諭と担任が連携して指導していく。
	バランスの とれた基 本的な体 力の育成	バランスのとれた基本的な体力の育成のため、縄跳び活動などの総合的な体力向上を目ざす活動を、年間を通して位置づける	A					
とができる学校づくりを推進する安心して学ぶことができる、通わせるこ	職員の安 全に対す る意識の 向上	「安全が最優先」を肝に銘 じ、リスクマネジメントとク ライシスマネジメントの視点 から、安全管理体制を充実さ せる	A	A	さまざまな状況を想定 した避難訓練を計画・実施し、子どもの意識向上 が図られた。職員の研修 や訓練を通して児童の安全を確保するための実践 的な行動力を高めてきた。 業務の効率化を図り、 子どもに向き合う時間と ゆとりの確保に努めた。	В	自分の身は自分の多ことれていることがあることがある。これではいいからしい。これではいいののコックを対しているが、ミュのは、シー・カーでは、カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	子どもへの安全指導や安全に関わる、一層の充実を図りた、一層の変化解消の取りを継続し、ないのの変化をといる。多性化解消の内容の対象と作業に変し、大変の対象となった。 一個では、大変には、大変の対象をは、大変の対象をは、大変をは、大変をは、大変をは、大変をは、大変をは、大変をは、大変をは、大変
	教員の多 忙化削減	全職員協働での教育活動の推 進、タイムマネジメント能力の 向上を通して、教職員の多忙化 削減を目ざす	A					

【自己評価 A:十分に達成されている B:概ね達成されている C:あまり達成されていない D:ほとんど達成されていない】

【総合評価 自己評価をもとに 上記のA・B・C・D で評価】

【関係者評価 A:適切である B:概ね適切である C:あまり適切ではない D:適切とは言えない】

すすんで表現し

ともに学ぶ

賀茂っ子の育成



一年間 ありがとうございました

こがも 『しんけん』

なにごとも「しんけん」にがんばろう!が合言葉でした。毎日、元気に登校し、行事の練習や本番全てに一生懸命取り組むことができました。勉強でもできることやわかることがとても増えました。苦手なことにも「しんけん」に取り組む姿が大好きです。来年もすくすく成長しよう。 【坂上】

1年 『にこにこ』

「できた!」「わかった!」をたくさん実感できた一年間になりました。4月は自分のことで手一杯だった子どもたちが、だんだんと周りに目を向けられるようになり、日々成長を感じました。

来年はお兄さんお姉さんになります。2年生でも「にこにこ」と元気いっぱい笑顔いっぱいでがんばってくれることを願っています。 【遠藤】

2年 『スマイル』

毎日元気よく登校し、農園へ行って野菜の水やりを一年間通してがんばってきました。作物の成長と共に、自然への気づき、すばらしさを実感できました。また、友達のことを見ていて、「手伝おうか」「やろうか」と言葉で伝えて笑顔いっぱいの毎日を送ることができました。3年生でもいろいろなことにトライしてほしいです。 【飛安】

3年 『トライアングル』

一年間おはなしタイムを中心に学級で「トライ」することに取り組みました。3学期には「4年生では委員会の仕事があるから朝の支度を早くしたい」「3年生でなわとびを頑張ってきたから、1・2年生とも仲よく一緒に跳びたい」など高学年を見据え、挑戦しようとする姿が見られました。これからも前向きに「トライ」してほしいです。 【澤井】

4年 『一歩前進』

4月からの目標「自分で考え、判断し、行動できる人になる」ために、さまざまな場面でがんばってきました。来年度はさらにレベルアップして、自分のことより、下級生やたて割り班のメンバーのことを優先して考えられる高学年になってほしいと思います。学習では「文字を丁寧に読みやすく書くこと」に一年を通して取り組みました。 【中村】

5年 『行け!前向きロケット5号』

高学年という自覚をもち、「挨拶」「発言」「姿勢」に前向きに取り組みました。挨拶運動や、姿勢のポスターで全校への呼びかけを行い、5年生の活動を全校へ広げることができ、成長を感じました。6年生に向けて、最高学年としての責任感をもち、行事を中心に賀茂小を盛り上げるパワーをもって、突き進んでいってほしいです。【夏目】

6年 『PIECE & PEACE』

年度初めに作った、仲間への思いが詰まった学級の詩"PIECES"。その中にある「誰が欠けても完成しない 一人一人が大切な1ピース」という言葉が大好きでした。クラスー丸となって、一人一人が自分の力を精いっぱい出し切りました。これから先、中学校でも高校でも社会に出ても、いつどんなときでも、その中で輝く1ピースとなって存分に力を発揮してほしいと思います。 【大髙】

賀茂小学校の教育活動



8名の1年生が仲間入り



二年ぶりのウォークイン賀茂!



今年はおにぎりの絵に挑戦



プール掃除がんばりましたが・・・



リズムなわとび♪おどるポンポコリン♪



学習発表会でのトーチトワリング



ホタルが舞うことを願って放流



修学旅行 奈良·京都



ゴールめざして スタート!

始業式 新任式

四月七日

学校説明会・授業参観

ウォークイン賀茂・遠足

 \Diamond

入学式

カルチャークラブ作品

修了式 ひとのわ集会 三学期始業式 マラソン大会 |学期終業式

修学旅行 ホタル放流式

学習発表会 就学時健康診断 校区合同運動会 一学期始業式

豊橋・学校いのちの日 三世代ふれあい活動 学期終業式

九月一日

九月十七日

六月十八日 六月十八日

五月十日 五月三十一日・ 六月一日

野外教育活動

-二月十三日 -二月二十三日 - | 月二十一・二十二日 月二十二日

十月十三日 ---月十二日